

「フィジコ」を使って地域と一緒にレベルアップ
 シミュレーションルームを活用した 八千代病院看護部の教育実践

平成 26 年 5 月に新館がオープンし、院内にシミュレーションルームを開設された社会医療法人 財団新和会 八千代病院の副院長兼看護部長 永坂和子氏と看護部 キャリア支援担当 足立きぬ糸氏に、新しく誕生したシミュレーションルームの利用状況や効果、今後の活用に向けての展望を中心にお話を伺いました。

先生紹介



永坂和子 先生
 副院長 看護部長



足立きぬ糸 先生
 看護部 キャリア支援担当

すべては地域のために

「病院では、肺炎などで入退院を繰り返す患者さんが沢山いるのが現状。だから、病院のケアだけでなく、地域ぐるみのケアが重要なんです。」明治 33 年の開業以来、地域に根ざした医療体制を発展させてきた八千代病院。救急～回復期、在宅支援までを行うスーパーケアミックス型の医療提供をより充実させるために、地域包括ケア病棟などを備えた新館が今年オープンした。安城市は、自動車産業のお膝元ということもあり若い世代が多い一方で、少子高齢化社会を迎え、市や医師会、地域の医療機関、介護福祉施設と連携をとり「地域包括ケアシステム」の構築を推進している。



画面左側の建物が新館 ▶

地域包括ケアシステムの連携の場となり 地域全体のレベルアップを図りたい
 —平成 26 年 5 月シミュレーションルームを開設

シミュレーションルーム



全国の大学病院や学校では、シミュレーション教育を実施する環境が整いつつある現在、八千代病院の様な市中病院で教育施設を設置するケースは、まだまだ少ない。しかし、地域の基幹病院として、急性期から在宅医療まで、看護師に求められるスキルは高く、OJT や患者さんでは習得できない部分を補う教育が必要だった。「急性期～回復期までを看る日々の忙しい業務のなかで、シミュレータを出し入れせずに、いつでもだれでもすぐにトレーニングできる環境づくりが必要だと感じていたんです。」そのとき、新館増設の話が持ち上がったという。建物の図面を見ながら、弊社と共にシミュレーションルームのプランをまとめ、看護部から

の発信で、看護師・研修医・理学療法士や地域の医療従事者がトレーニングできるスペースの確保を申し出たところ、地域包括ケアの一翼を担う病院の意思と合致した。

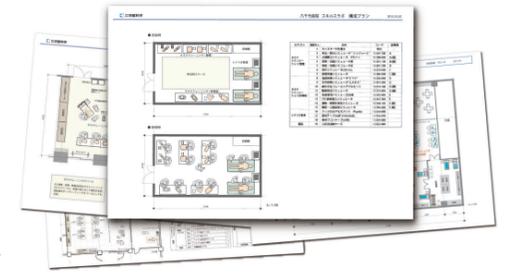
また、最近では法改正により、卒後 2,3 年目の新人看護師でも、訪問看護を希望する事例は珍しくないという。「在宅の現場では、看護師一人で判断しなくてはならない場面がある。例えば、患者さんの状態をみて救急車を呼ばなくてはいけない状況か判断したり…ベテランでない看護師は経験が少ないので、現場に向かう前に少しでもシミュレーショントレーニングができれば自信につながるはず。」このような状況を踏まえ、フィジコを使った地域の訪問看護師のトレーニングも近々予定されている。

シミュレーションルーム活用事例

—フィジコを活用し地域と一緒にスキルアップを図る

先生方の教育に対する熱意と、病院・地域の潜在ニーズとが重なり、シミュレーションルーム開設からわずか半年で様々な活動を生み出している八千代病院。地域包括ケアや、院内の教育プログラムにもシミュレータを使った内容を組み込むなど、次々と活用の場を広げている。

開設に向けて提案したシミュレーションルームのプラン ▶



▲ 坂田徳一看護部主任によるマンツーマントレーニング



▲ 新人看護師の呼吸アセスメント研修

地域教育 安城市（福祉部介護保険課）と連携した取り組み

2014 年 10 月に安城市と共同で介護施設の看護師やヘルパーさんを対象とした研修を開催。「20 名が参加し、シミュレーションルームと隣の部屋を利用して、6 グループに分かれ、それぞれに教育担当を配置しフィジカルアセスメントモデル“フィジコ”と吸引・口腔ケアのシミュレータを使って研修を実施しました。」地域の歯科衛生士が口腔ケアの講義を、八千代病院の看護師が吸引の実技指導を行い、参加者はシミュレータを利用して、普段の業務では体験できない手技に熱心に取り組んでいたという。

新人教育 新人看護職員研修

卒後 1 年目には、フィジカルアセスメントや呼吸理学療法の基礎を学び、卒後 2 年目には、フィジコを使用して疾患とフィジカルアセスメントの関連を知る。「シミュレータと指導方法はセット。」フィジコを使った指導方法は坂田徳一看護部主任が名古屋大学で学び、院内で共有することで指導者同士のレベルアップを図っている。

中堅教育 / 復職支援

「新人看護師のみならず、中堅・ベテラン看護師もシミュレーショントレーニングが有効。配属先の専門的な知識技術はあるものの、他の分野では経験していないこともあるので、それを補うのにフィジコが役立ちます。」

今後の展望

「退院され在宅で過ごされる患者さんのご家族に、一回でもシミュレータを使って吸引などを体験してもらえれば、ご家族も安心されます。」と、家族教育へのシミュレータの活用を唱えられた。また、今後は院内のイントラネットを活用して、シミュレータを使った指導方法を共有したり、シミュレーションルームの予約が

できるシステムを整えていきたいという。「シミュレーションルームが地域包括ケアシステムの連携の場になって、患者さんが行き来するだけでなく職員も行き来して地域全体のレベルアップが図れたらいいですね。」と、地域の医療従事者が“Face to Face”で情報交換できる場となることを目指し、市と協同しながら計画を進めている。

編集後記

病院界隈は自動車産業のお膝元であることから若い世代も多く、昔から不妊治療にも力を入れているという。「卵から受精卵まで」を目標に助産師さんのトレーニングも実施していきたいという言葉が印象的だった。「この病院で“地域の良さ”を知った」と笑顔で語る先生方…地域に根ざした教育の探求と、それを協同して実行する行動力に脱帽です。

教育情報 教育プログラム

看護師臨床研修プログラム

看護の質向上、医療安全の確保を目的として実施。部署配属後の関連部署への留学、集合研修では看護の基礎を学ぶ。

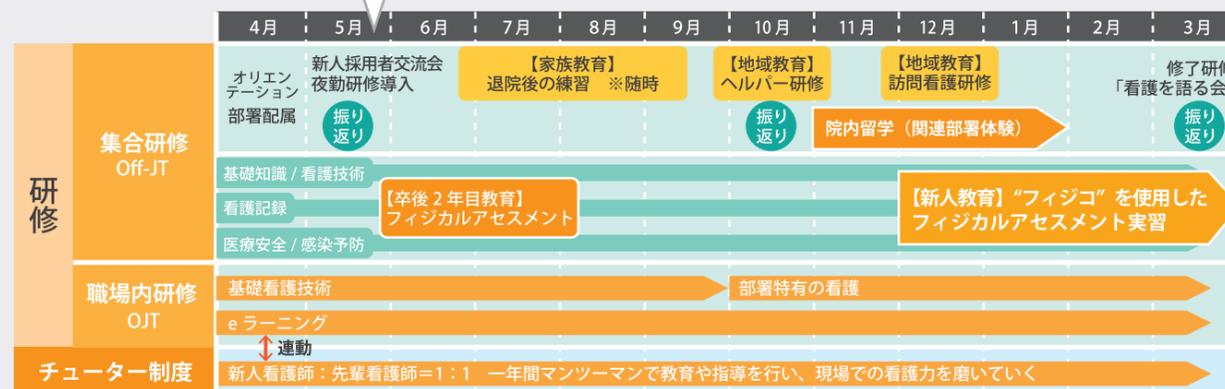
キャリア開発プログラム：クリニカルラダー

プロフェSSIONALを目指す看護師のキャリア開発を支援。看護部勉強会や院外研修を通じて専門知識や技術を体得する。

チューター制度

一年間マンツーマンで教育指導を行い、現場での看護力を磨く。

シミュレーションルーム開設



▲ 新人看護職員研修の様子

施設情報



社会医療法人 財団新和会
 八千代病院
 病床数：420 床
 職員数：712 名
 場所：愛知県安城市
 URL：
 http://www.yachiyo-hosp.or.jp
 (2014 年 12 月現在の情報です)